

取扱説明書

2011年12月

電動スクーター

SEEM

S-10/S-11



株式会社 クラモト

製品をお買い上げいただきましてありがとうございます

★ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お車の引き渡しについて

1. お買い上げになりました、SEEM取扱店にてこの取扱説明書を受け取り、下記の説明を受けてください。
2. お車の正しい取り扱い方
3. 保証内容と保証期間
4. 点検・整備について
5. 保証書の記入・捺印

運転免許について

1. 電動バイクを一般行動で運転するには、運転免許が必要です。ご自身の運転免許で運転できるかどうか確認してください。
2. この電動バイクは、第一種原動機付自転車です。
3. この電動バイクの乗車定員は、運転者のみの1人です。

取扱説明書について

1. この取扱説明書には、電動バイクの取り扱いかた安全な運転の仕方簡単な点検の方法などについて説明してあります。
2. 車の取り扱いかたを十分にご存じの方も、電動バイク独自の装備や取り扱いがありますので運転する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
3. 電動バイクを譲られる場合、次の方にこの取扱説明書をお渡しください。
4. 電動バイクの仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容と実車が一致しない場合があります。ご了承ください。
5. この取扱説明書は常時大切に保管してください。

尚、不明な点がありましたら、お買い上げになりましたSEEM取扱店までお問い合わせさせていただきます様 お願いいたします。

安全運転のために

心のゆとりと正しい服装が安全運転の決め手です。
焦らずにゆとりを持って、道路交通法を守り落ち着いた運転を心がけましょう。

- ◆運転者は、必ずヘルメットを着用してください。法令でも定められています。ヘルメットの着用はアゴヒモを必ず絞めるなど、正しく行ってください。
- ◆ヘルメットは、頭にしっかりと合せて圧迫感のない物をお選びください。
- ◆ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の場合、死亡又は重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- ◆運転者は乗車する時は、必ずヘルメット、保護具及保護性の高い服を着用してください。
 - フェイスシールド又はゴーグルの使用
 - くるぶしまで覆う靴の着用
 - 摩擦に強い皮製の手袋の着用
 - 長ズボンと長袖のジャケットの着用
- ◆明るく目立つ色の動きやすい服装で尚且つ体の露出の少ない物を着用してください。
- ◆裾の広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキ操作などの運動動作の妨げになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

運転する前に

★日常点検を行ってください。
電動バイクは常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。
日常点検は、電動バイクを使用する方が1日1回運転する前に実施する点検です。
安全快適にお乗りいただくために必ず実施してください。

この車に適用される点検項目は、下記「日常点検項目」です。

日常点検項目

◆ブレーキ

1. ブレーキレバーの握りしろが適切であること
2. ブレーキの効きが十分であること
3. ブレーキ液の量が適切であること

◆タイヤ

タイヤの状態が適切であること 空気圧・亀裂・損傷・異常な摩耗・溝の深さ

◆灯火装置及び方向指示器

◆運行において異常が認められた箇所

◆バッテリー(指定点検項目)

充電電圧 バッテリーの充電が適切かどうか確認してください。

荷物

荷物を積むと、積まない時に比べてハンドルの感覚が少し変わりますから注意が必要です。
積みすぎると、ハンドルがふられ運転を誤ることがありますので、積み過ぎに注意しましょう。

- コンビニフックには、車体からはみ出したり足に当たるような大きな荷物等は掛けしないでください。インナーフックから荷物がはみ出さないようにしてください。走行やハンドル操作に支障をきたすことがあります。
- ハンドル近くに物を置くと、ハンドル操作が出来なくなる場合がありますので物を置かないでください。
- ヘッドライトレンズの前を荷物等が遮らないようにしてください。過熱によりレンズが溶けたり荷物等まで損傷する場合があります。
- 石や鉄片など硬くて重い物を入れたまま走行しないでください。積載重量以内でもトランク本体や車体が損傷する場合があります。
- 荷物は指定の場所以外には積まないようにしてください。カバー等が破損することがあります

- 荷物の積載は下記重量までです。

インナーラックとコンビニフックの合計: 1.0Kg
シート下トランク: 7.0Kg
リヤキャリア: 3.0Kg(リヤボックス含む)
前かご(オプション): 3.0Kg

乗り方について

- ▲メインスイッチの操作は、座席に腰を掛けて、安全を確認してから操作してください。
- ▲走行中は運転者は両手でハンドルを握り、両足をフロアステップに置いてください。
- ▲急激なハンドル操作や、片手運転は危険ですので避けてください。
- ▲この車両は1人乗りです、二人乗りはできません。
- ▲走行中の携帯電話の使用はお止め下さい。使用の際は安全な場所に停止してから使用してください。
- ▲急激なスロットルの開閉操作(スナッピング)は故障の原因になります。
- ▲スタンドを上げた状態で、スロットルを回さないでください。

駐車

盗難防止のため、お車から離れる時は必ずハンドルロック掛け、キーを抜き
シャッターを閉じて下さい。
メインスイッチキーはお持ちください。

- ◆水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。
- ◆交通の邪魔にならない安全な場所に駐車しましょう。
- ◆やむおえず傾斜地、砂利を敷いた所、でこぼこな所、地面がやわらかい所等に駐車せざるを得ない時は車の転倒や動き出しのないよう安全処置に十分留意してください。

改造

車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり 車の寿命を縮める可能性
があります。
このような改造に起因する場合は、保証は受けられません。

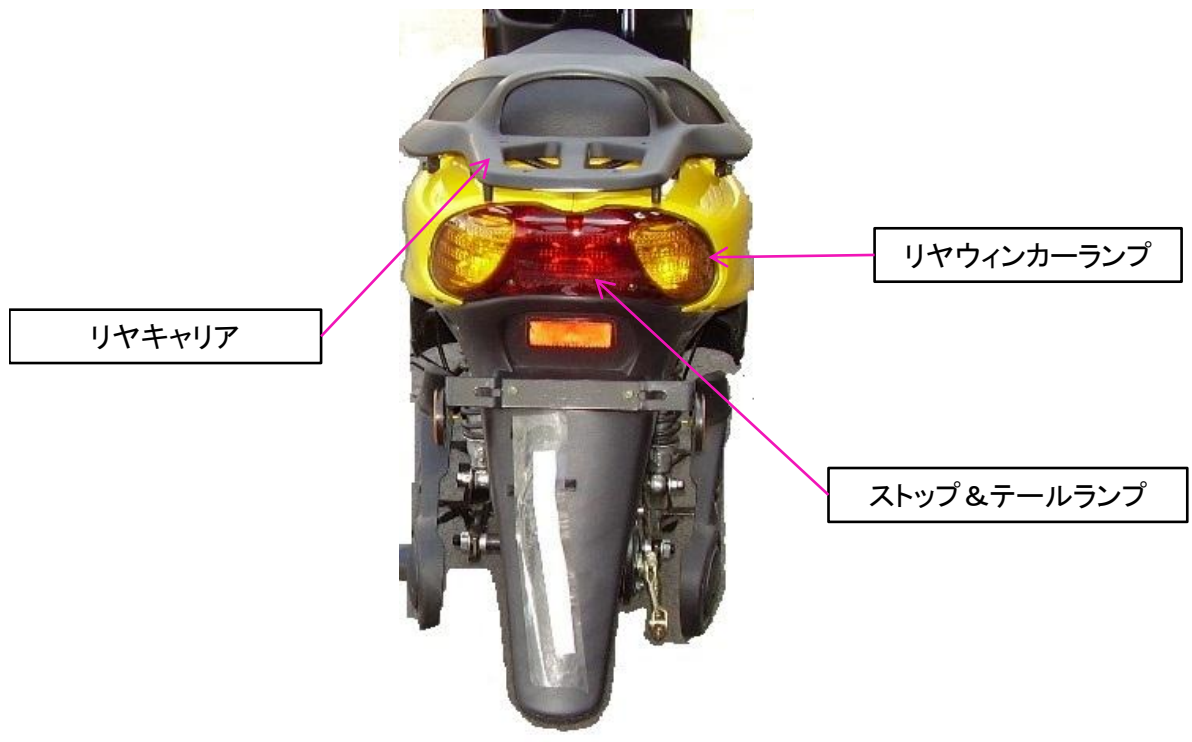
地球環境保護について

★お車及び部品などの廃棄をするとき
地球環境を守る為に、使用済みのバッテリーやタイヤ等はむやみに捨てないようにしてください。
これらの物を廃棄する場合は、SEEM取扱店にご相談ください。
また将来お車を廃棄する場合も同様です。お車の廃棄を希望するときは、お近くのSEEM取扱店に
ご相談ください。

バッテリーの取り扱い方

- ◆バッテリーの保管、及び使用は周囲温度が、 -10°C 以下、又は 40°C 以上では行わないでください。
充電する時は周囲温度が 0°C 以上 30°C 以下で行うようにしてください。
温度範囲以外では、バッテリーの破損、変形、早期劣化等の原因になります。
- ◆バッテリーは密閉式のメンテナンスフリーバッテリーを使用していますので液の補充等は必要ありません。
むやみに上蓋を開けないようにしてください。
- ◆バッテリーはメインスイッチがOFFの状態でも、多少の自己放電をしていますので使用しない場合でも
1ヶ月に1～2回充電し常にフル充電しておいてください。
充電を行わないとバッテリーの早期劣化を早めることになります。
- ◆外気温が低い場合、バッテリーの性能が十分に引き出せない場合があり、走行距離が短くなったり
速度が出ない場合があります。
- ◆バッテリーの交換、修理、メンテナンス等が必要な場合はSEEM取扱店
に相談してください。

各部名称

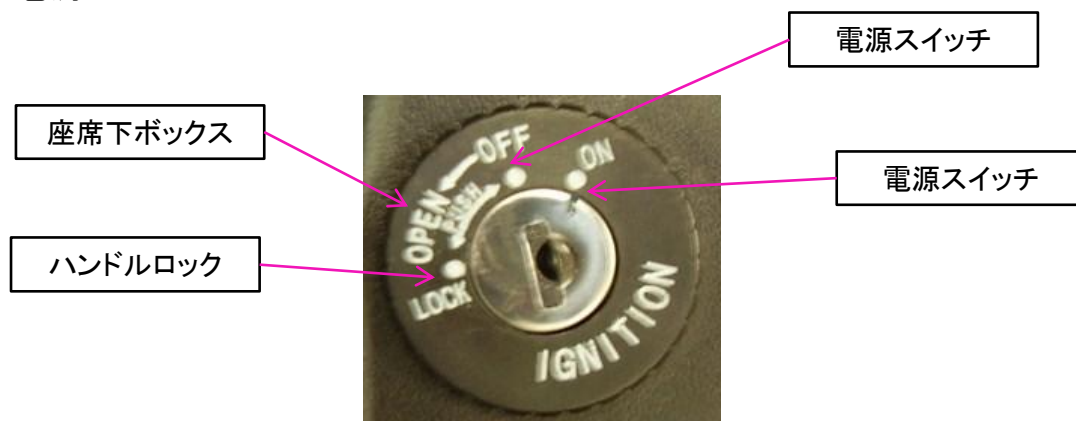


メーターパネル



1. 速度計(スピードメーター)
走行中の速度を示します。原動機付自転車の法定速度は 30Km/hです。
速度を守り安全走行してください。
2. 積算距離計(オドメーター)
走行した総距離をKmの単位で示します。
白地に黒数字は100mの単位です。
3. バッテリー残量計
バッテリーの電圧残量を示します。
H(満充電) 緑色(残量あり) 黄色(要充電) L(残量なし)
走行中は負荷が変動しますのでバッテリー電圧の指示が変化します。
走行中に残量計の針が黄色にさしかかるようになったら早めに充電をしてください。
4. 方向指示器表示灯
方向指示器の操作により左折または右折を音と点滅でお知らせいたします。

電源スイッチ

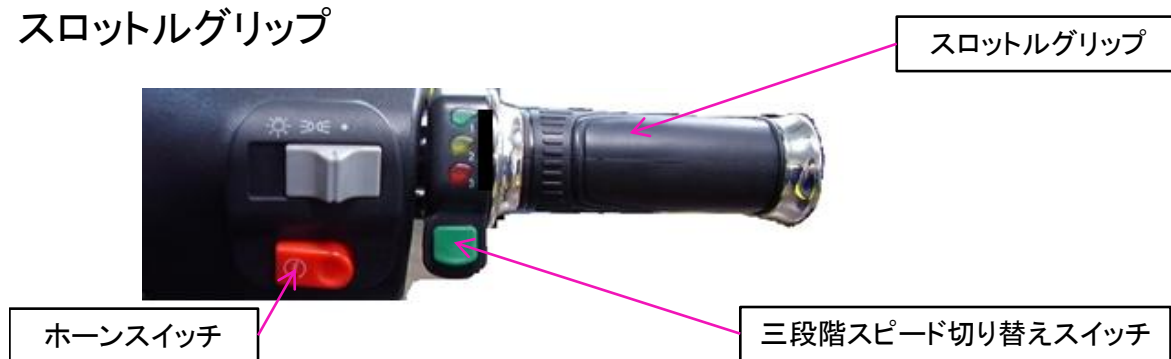


電源スイッチ

- キーを差込み「ON」:「OFF」:「OPEN」に回します。
- 「ON」 電源が入り走行できます。
 - 「OFF」 電源が切れます。
 - 「OPEN」 座席下ボックスが開きます。
 - 「LOCK」ハンドルを左に切り、キーを押しこみながら回すとハンドルロックされます。

※標準としてキーは2本付いていますので、1本はスペアキーとして保管して下さい。

スロットルグリップ



◆静かに手前に回すとスタートします。
グリップの回し加減で速度を調整します。
グリップを戻すと速度が遅くなります。

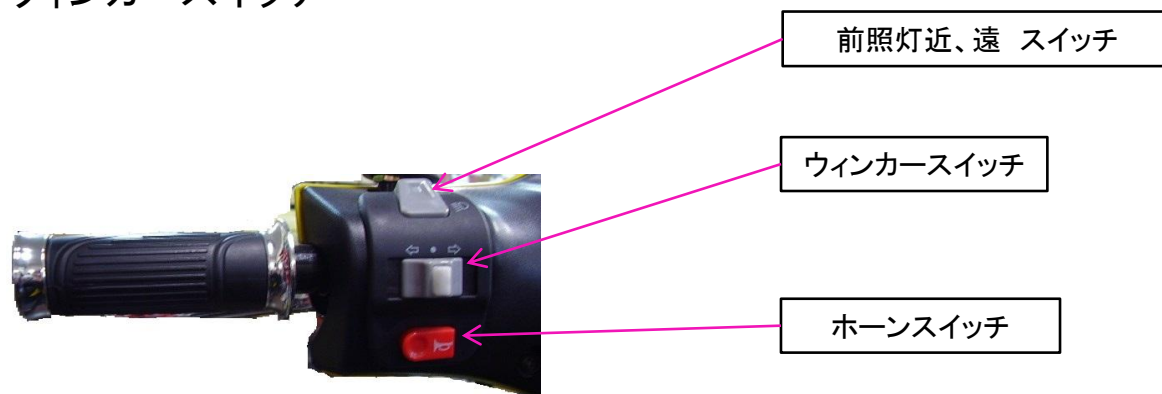
◆急激なスロットルの開閉操作(スナッピング)は故障の原因になります。
スタンドを上げた状態で、スロットルを回さないでください。

◆3段階スピード切り替えスイッチ

手動でスピードの切り替えができます。
上から順に
モード1. 低速
モード2. 中速
モード3. 高速
となります。

モード3はバッテリーの電流の消費が著しく多くなりますので
ご注意ください。

ウインカースイッチ



◆進行方向を変える時、右左折時などウインカーランプを点滅させます。
運転者の進みたい方向を表示させます。

◆スイッチを左右に押すとウインカーランプが点滅と同時に操作盤の表示灯
点滅及びブザーが鳴ります。

◆真ん中を強く押すと解除されます。

ホーンスイッチ

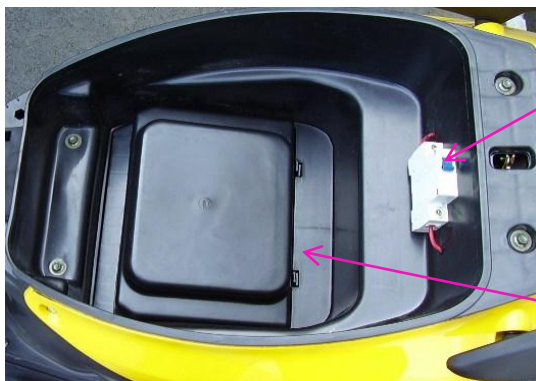
自分のまわりに、存在を知らせます。
ホーンスイッチを押すと音が鳴り、放すと止まります。

ブレーキ



- ◆スロットルグリップを戻してから、ブレーキレバーを握ると停止します。
- ◆制動力を効果的に得るためには、前後ブレーキを同時に使用すると効果的です。
- ◆「はじめやんわり、あときつく」がブレーキの上手なかけ方です。
- ◆電流の過負荷防止のために、ブレーキレバーは握ったままではスロットルグリップを開けないでください

座席



ブレーカースイッチ

※2012年以降のモデルには
ブレーカースイッチがついておりません

シートボックス

- ◆座席の下にトランクがあります。
トランクの最大荷物重さ: 7Kgです。
- ◆シートは電源スイッチにキーを差込み、左に回すとロックが解除されます。
- ◆シートを閉めた後は、完全にロックが掛ったか確かめてください。
ロックしないで走行すると走行に支障をきたすことがあります。
- ◆ブレーカー

長い上り坂では、自動でブレーカーが落ちることがありますので
この時には手動で元に戻してください。
また、故障などでブレーカーが元の状態に戻らない時には
SEEM取扱店までご連絡ください。

※キーをトランクに置き忘れた状態で座席を下げるとロックされ取り出すことが出来なくなります
のでご注意ください。

正しい運転の仕方

電源スイッチを「ON」にする時には、座席に腰を掛けて、安全を確認してから行ってください。

電源スイッチが「ON」になっていることを忘れてアクセルにふれると急に走り出す危険があります。

座席に腰を掛けて、バックミラーを後方の確認ができるように調節してください。



キーを差込み電源スイッチを「ON」にします。

スロットルグリップを回し負荷がかかった状態での表示がバッテリー電圧の残量となります。バッテリー残量計で残量確認し、不足時は充電後使用してください。

発進走行

前後、左右の安全を確認してください。

スロットルグリップを手前にゆっくり回してください。

スロットルグリップを急に回すと急加速して危険です。

走行中は電源スイッチを切らないでください。

カーブ走行の時は、スピードの出し過ぎに十分注意してください。

正しい走り方

スタート前に方向指示器スイッチで合図を出し、後方の安全を確認してからスタートしてください。

速度調整はスロットルグリップで行います。

手前に回すと速度は速くなります。戻すと遅くなります。

不必要な急ブレーキは避けてください。タイヤをロックさせ車体の安全性を損なう恐れがあります。



雨の日や路面が濡れているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキを掛けるなど余裕を持って操作してください。

下り坂では、スロットルグリップを戻して、速度に応じてブレーキを掛けながらゆっくり走ってください。

連続的なブレーキ操作を避けてください。ブレーキ部の温度上昇の原因となりブレーキの効きが悪くなる恐れがありますので避けてください。

水たまりを走行した後などは安全な場所で周囲の交通事情に十分注意、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させてブレーキの効き具合を確認してください。もし効き具合が悪い時はブレーキを軽く作動させながら、しばらく低速で走行しブレーキを乾かしてください。

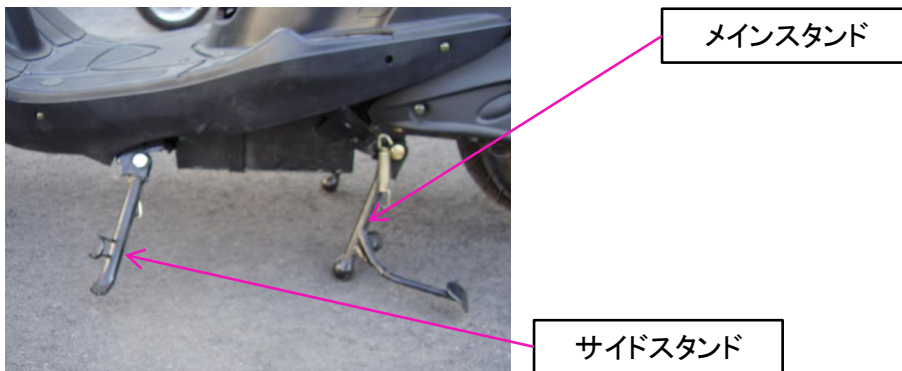
雪道や凍った道は滑りやすいので十分注意して、走行しましょう。
止まる地点が近づいたら早めに方向指示器スイッチで合図し、後方や側方の車に注意し、徐々に左によります。
スロットルグリップを戻して、早めに左右のブレーキレバーを引きブレーキを掛けましょう。制動灯(ストップランプ)が点灯し、後車への合図になります。

停止 及び 駐車

スロットルグリップを戻してブレーキレバーを握ります。
駐車する場合は周囲に迷惑のかからない場所に移動し、駐車してください。
電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。

正しい駐車の仕方

安全に車が止まったら方向指示器スイッチを戻し、電源スイッチのキーを「OFF」の位置にしキーを抜きます。
走行中にすると思わぬ事故に繋がる恐れがありますので駐車してから操作してください。
電動バイクは無音、無振動です。電源スイッチが「ON」になっている事を忘れてアクセルに触れると走り出す危険があります。
左側に降りて平らな場所でメインスタンドを立てましょう。



左手でハンドルを真っ直ぐにし、右手でリヤキャリアをしっかりと持ち、右足でスタンドの踏み付け部分を地面方向に強く踏むと比較的にセンタースタンドを立てることができます。

盗難予防のため駐車する時は必ずハンドルロックを掛けメインスイッチのキーを抜きます。

サイドスタンドを立てると、危険防止のためスロットルグリップを回してもモーターは始動しません。

充電の仕方と注意点

1. 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。
2. シート下ブレーカースイッチをONにします。
3. 標準装備の充電器を取り出し、充電コードを差込み口にしっかり奥まで差し込んでから、片方のプラグを家庭用のAC100Vコンセントに差し込んでください。
4. 充電時間は、バッテリーの状態、また気温等の環境により異なりますが約2～8時間です。
5. 充電が完了すると充電機能は自動的に停止します。
6. 電源プラグを抜く時は、コードを持たず電源プラグの先端を持って抜いてください。またプラグの抜く順序はAC100Vの方を抜いてから本体側プラグを抜いてください。その際、本体側充電口キャップは必ず閉めてください。
7. バッテリーは電源スイッチ「OFF」の状態でも、多少の自己放電をしていますので1ヶ月に1～2回充電し常に満充電にして置いてください。
充電を行わないとバッテリーの劣化を早める原因になります。

充電器



電源が入っていると赤く点灯します。

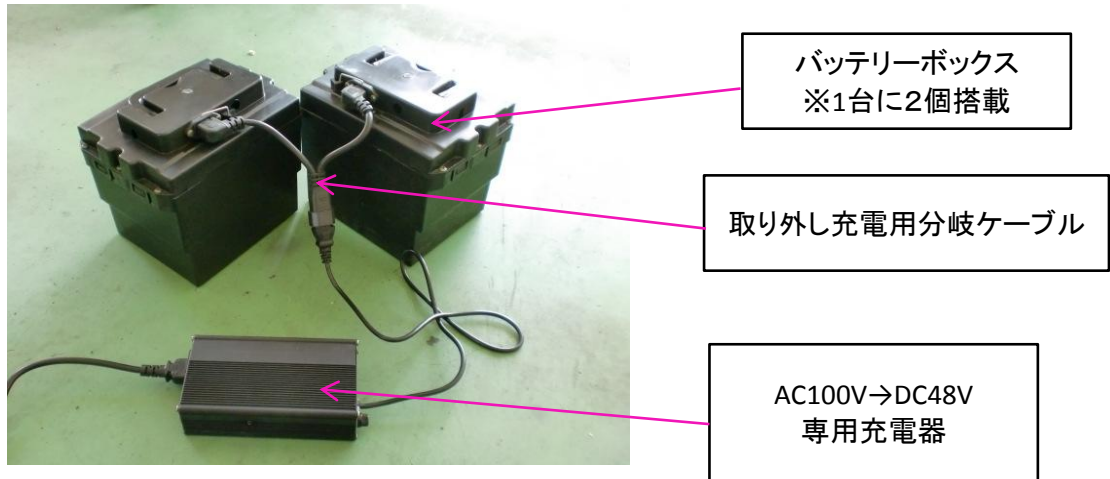
充電中は赤く点灯
充電完了は緑に点灯



AC100V用差込みプラグ

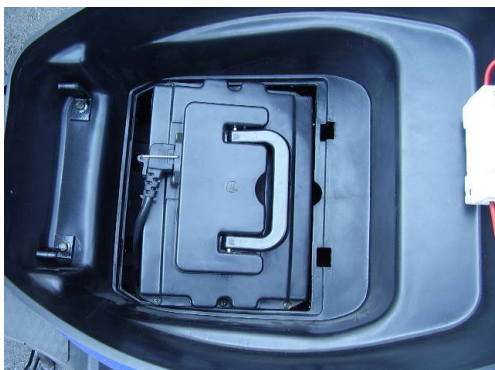
車体側差込みプラグ

バッテリー取り外し充電(S-11のみ)



車両からバッテリーを取り出し、付属の充電器と分岐ケーブルを使って充電します

バッテリーの取り外し方(S-11のみ)



シート下トランク内のバッテリーカバーを外すとバッテリーが見えます
接続コネクタを外し、取っ手を持って上段のバッテリーケースを引き上げます



上段を外したのち下段のバッテリーケースも同様に外します

タイヤ

タイヤの溝の深さをデプゲージ等で測ります。規定値(1.6mm)以下の場合は交換してください。
測定は販売店等に相談してください。



タイヤサイズ3.00-10

ブレーキ

ブレーキレバー調節
ブレーキレバーを引いた時遊びが6～8mm内にならない時は調節する必要がありますので販売店に相談してください。



保管

お車は出来るだけ自宅の敷地内に保管し、屋外の場合は雨など濡れない場所に保管してください。

大事なお車を守るには日ごろのメンテナンスが重要です。

長期保管する時は必ず満充電にしてください。

バッテリーは電源スイッチが「OFF」の状態でも、自己放電しています。

1ヶ月に1～2回充電して満充電の状態にしてください。

日常点検 及び定期点検整備

電動バイクをご使用の方の安全とお車を快適にご使用いただくため

法令により、ご使用前の日常点検と6カ月の定期点検整備を行う

事が義務付けられています。

必ず実施してください。

日常点検

お車を使用する人が、運転前に実施する点検です。

点検箇所	点検内容
ハンドル	緩み、ガタつきはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
スロットルグリップ	正常に作動しますか？
モーター	モーターの回転音に異常はありませんか？
ホーン	ホーンはなりますか？
ウインカーランプ	ランプは点灯しますか？警告音は鳴りますか？
後方点滅等	ランプは点滅しますか？
ブレーキレバー	ブレーキは効きますか？
	レバーの遊びは適切ですか？
バックミラー	汚れ、損傷はありませんか？
バッテリー残量計	バッテリー残量は十分ですか？
ヘッドランプ	ランプは点灯しますか？
	汚れ、損傷はありませんか？
ナンバー用ランプ	ランプは点灯していますか？
座席	座席は正常ですか？
	緩み、ガタつきはありませんか？
タイヤ	亀裂、損傷はありませんか？
	タイヤの溝の深さは適切ですか？
	金属片、石等の異物が刺さっていませんか？
	空気圧が適正ですか？

安全点検記録簿

安全の為、購入後6ヶ月に取扱店で点検(有料)を受けてください。

OK:異常なし A:調節 △:修理 X:交換 T:締め付け C:清掃

定期点検		6ヶ月
操作ボックス	アクセルレバーの作動、戻り具合	
	スイッチの作動具合	
	コネクター接続部の緩み、損傷	
メインコントローラー	コネクター接続部の緩み、損傷	
モーター	回転、異音	
	コネクター接続部の緩み、損傷	
バッテリー	ターミナルの締め付け、腐食	
	コネクター接続部の緩み、損傷	
充電器	充電機能	
	コネクター接続部の緩み、損傷	
	ランプの点灯	
	コードの損傷	
	ファンの回転、異音	
ブレーキ	手動ブレーキの遊び	
	ブレーキランプの点灯	
	手動ブレーキの効き具合	
	ブレーキケーブルの緩み、損傷	
	ブレーキシュー摺動部	
	ライニングの摩耗	
	ブレーキドラムの摩耗、損傷	
ハンドル	ハンドルの操作具合、緩みガタつき	
	左右の操舵角度	
	ステアリングシャフトの取付具合損傷	
	ステアリングシャフトの軸受部のガタつき	
	ストッパーの損傷、サビ	
座席	座席の汚れ及び損傷	
	取付部の損傷	
	ストッパーの変形、摩耗	
タイヤ	タイヤの亀裂、損傷	
	タイヤの溝深さ、摩耗	
	空気バルブの損傷	
	空気圧の適正	
ホイール	ボルト、ナット類の緩み	
	ホイールの損傷	
	ボルト、ナット類の緩み	
サスペンション	サスユニットの損傷	
	サスペンションの作動具合	

主要諸元表

型式	S-10	S-11
長さ	1820mm	
幅	675mm	
高さ	1040mm	
本体重量(バッテリー除く)	58Kg	
車体重量(バッテリー含)	94Kg	88Kg
乗車定員	1人	
モーター	600W × 1	
バッテリー	16V18AH × 4	12V20AH × 4
充電機	AC110	
タイヤサイズ(前後)	3.00-10	
駆動方式	後輪ダイレクト駆動方式	
制動方式(前輪)	油圧式ディスク	
制動方式(後輪)	機械式ドラム	
航続距離	モード1: 65km	モード1: 60km
	モード2: 50km	モード2: 45km
	モード3: 40km	モード3: 35km
充電時間	5~8時間	
バッテリー充電方法	車両固定のみ	固定・取外し両用
タイヤ空気圧(前輪)	2.3	
タイヤ空気圧(後輪)	2.5	

※航続距離は定地走行時のデータになります。

保証書

1. 保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造の二輪車を構成する各部品に材料又は構造上の不具合が起きた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、これを無償修理いたします。(以下この無料修理を保証修理といたします。)保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品等は弊社の所有となります。

2. 保証期間

- 1) 保証期間 新車をお買い上げの日から1年間もしくは、5,000Km以内
バッテリーは1年間
- 2) 保証対象部品 車両を構成する全部品、ただし下記を除く
 - ・バルブ類、ブレーキパッド、油脂類などの消耗品
 - ・使用によるバッテリーの緩やかな消耗
 - ・タイヤやアクセサリ用品等の別扱い部品

3. 別扱い保証

次に示す部品は、この保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます。お買い上げいただいたSEEM取扱店にご相談下さい。

- ①タイヤ・チューブ ②アクセサリ用品等

4. 保証できない事項

- 1) 次に示す事項は保証修理致しません。
 - ①保守、整備の不備又は間違いに起因する不具合
 - ②取扱説明書に示す取扱い方法と異なる使用及び弊社が示す使用の限度(最大積載量・乗車定員・その他)を超える使用に起因する不具合
 - ③法令に違反する改造及び弊社が認めていない改造(車高の変更・灯火器の減、増設・バッテリー容量の変更など)に起因する不具合
 - ④レース・ラリー等による酷使あるいは一般に車が走行しない場所での走行に起因する不具合
 - ⑤純正部品及び指定する油脂類以外の使用に起因する不具合
 - ⑦機能上影響の無い感覚的な現象(音・振動・オイルのにじみなど)
 - ⑧地震・台風・水害などの天災、事故及び火災に起因する不具合
 - ⑨煤煙・薬品・鳥糞・塩害などに起因する不具合
 - ⑩後記5の『お客様にお守りいただく事項』を守らなかったことに起因する不具合
- 2) 次に示す費用は負担いたしません
 - ①法令に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
 - ②点検・清掃及び法令で定められた定期点検整備の費用
 - ③弊社取扱店以外での修理費用
 - ④使用により消耗した部品及び油脂類等の交換補充の費用
 - ⑤二輪車を使用できなかった事による不便さ及び損失など(電話代・レンタカー代・休業補償・商業損失など)
 - ⑥この保証書に示す以外の費用・補償など

5. お客様にお守りいただく事項

二輪車を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検整備が必要です。次のことを必ず守ってください。守られていない場合には、保証修理をお断りすることがありますので、ご承知下さい。

- ①取扱説明書に示す取扱い方法に従って使用すること
- ②日常点検を実施すること
- ③法令及び弊社の指定する点検整備を実施すること
- ④定期交換部品、及び油脂類などを指定どおりに交換すること

6. 保証の発行

この保証書は、お買い上げいただいたSEEM取扱店が保証登録書に必要事項を記入し、捺印することにより有効となります。

7. 保証修理の受け方

- 1) 保証修理をお受けになるときは必ず保証書をご提示下さい。提示がない場合は保証修理を致しかねます。
- 2) お買い上げのSEEM取扱店に保証修理をお申し付け下さい。ただし、お申し付けになる前に保証書の内容（特に保証できない事項）を良くお読み下さい

8. 保証書の適用

- 1) この保証書は、日本国内で販売し使用されるお車にのみ適用いたします。
- 2) 保障期間中に発生した修理等で掛かる工賃等について、SEEM取扱店でを行う場合は無償となりますが、他店で行った場合の工賃等の保証は出来ませんのでご了承下さい。尚、保証修理期間中の無償修理の場合でも、車両の送料、出張費用等お客様のご負担となる場合があります。
- 3) この保証書は本製品の生産終了から5年以内の保証開始（お買い上げ日起算）を有効とします。本製品の生産終了後5年間を経過した時点から保証書は無効になります。
- 4) この保証書は、本書に示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合については、この保証書に基づく保証修理の適用はありません。

製品保証書

品名	SEEM S-10/S-11
製造番号	

お客様	ご住所	
	お名前	様
	自宅TEL	()
	携帯TEL	()

保証期間	お買い上げ日より一年間または走行距離5000kmのいずれか到達まで
------	-----------------------------------

※バッテリーはメインスイッチがOFFの状態でも、多少の自己放電をしていますので使用しない場合でも1ヶ月に1~2回充電し常にフル充電してください。自己放電によるバッテリー早期劣化などは保証適用外になります。

この保証書は、保証記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。上記期間中に故障が発生した場合は、この保証書を提示の上SEEM取扱店に修理をご依頼ください。

尚、販売店名、扱い者印をご確認ください。

保証の再発行は致しませんので大事に保管ください。

お買い上げ日 20 年 月 日

販売店名